

令和 3 年 5 月 10 日

報道関係 各位

名古屋市立大学病院 整形外科

講師 野崎 正浩

電話：052-853-8236

整形外科手術支援ロボット「ROSA Knee」を 名古屋市で初めて導入（全国で5施設目）

名古屋市立大学病院は5月13日より安全・安心な人工膝関節置換を実現するため、米国ジンマー・バイオメット社の整形外科用手術支援ロボット「ROSA Knee システム」を導入します。全国で5施設目（名古屋市の病院では1施設目）の導入になります。世界では200台以上が導入されており、良好な成績が報告されています。これまで術者の経験にゆだねられていた人工膝関節置換術における骨切りやインプラントの設置をロボットがアシストすることによって、低侵襲で合併症リスクの少ない手術が可能となり、患者様の早期の回復、早期社会復帰を目指します。

【導入する機器の概要】

1 機器の名称

ROSA Knee System(ロザニーシステム)

ZimmerBiomet (ジンマー・バイオメット) 社製

2 主な用途

人工膝関節置換術において、これまで術者の経験にゆだねられていた骨切りやインプラントの設置をロボットが補助をします。術前の計画に沿った再現性の高い手術が可能であり、合併症の少ない手術が可能になります。

3 これまでの人工膝関節手術との違い

(1) 手術精度の向上

ROSA Knee は、これまで術者の経験にゆだねられていた骨切りやインプラントの設置を、ナビゲーション機能を備えたロボットが補助します。その精度は 0.5° 、 0.5mm 単位で調整可能で、非常に正確な骨切り、インプラントの設置が可能となります。

(2) 理想の人工膝関節の実現

ROSA Knee では、手術前に患者様1人1人に個別に計画したその方の理想の人工膝関節を高い再現性で実現が可能となり、手術後の早期の回復、痛みのない膝により早期社会復帰が可能となります。



※取材をご希望の際は、事前に病院広報担当（長谷川・市川 電話 052-858-7113）までご連絡をお願いいたします。